広報かじき

発行所　鹿児島県姶良郡加治木町役場　（各戸一枚配付）
発行人　曽木隆輝　編集人　中元邦夫　印刷所　吉屋印刷所

人口の動き
―36年（1月1日現在）―

◉ 世帯数　5・013戸
◉ 人口　19・743人
男　9・375人
女　10・368人

12月中の出生 死亡

区分	出生	死亡	増減
男	21	8	13
女	9	8	1
計	30	16	14

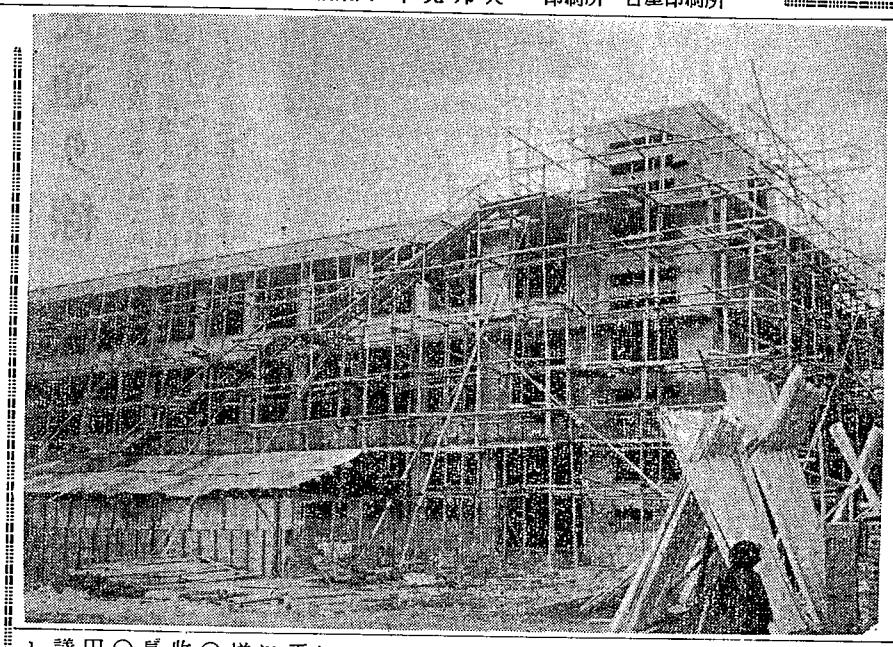
◆……町長昇給分から5万円を寄附

町長は「自分の月給の昇給は心苦しいが郡の町長会、議長会で決定した線であるので提案した。これが議会で決定になつたので、とりあえず昇給分の中から五万円を町育英資金に寄附する」旨申し出られた。

◆……国民健康保険の実施は4月1日から

国民健康保険の実施については、一月一日から発足の予定で準備をいたしましたが、議会の決定を得るにいたらずいよいよ最終の義務実施年度である四月一日から発足することになりました。

柁城校建築工事順調にすすむ



柁城校の才二期工事は既報のとおり中島建設により施工中でありますが、工事も順調に進み現在全工程の八〇％が完成、三月中には立派な校舎が完成することになります。写真＝ツチ音も高らかに工事を急ぐ柁城校

町議会全員協議会報告

町民各位に御心配をかけた曽木町長に関する問題につき町議会は一月十九日、二十二日、二十七日の三日間に亘つて全員協議会を開いて慎重審議を重ねました。その間町長の真意を確かめたところ、謹慎の意が顕著であり、且つ町政に一身を捧げることで罪を償わうとする決意が十分うかがえますし、而かも町政は目下重要な段階にあり、又町政を混乱に陥れるような事態を招来せしめないために、更に又町長の今後の精進努力を期待して留任することを、多数意見で決定しました。

なお、この際御諒解を得たいことは全員協議会を非公開にしたことです。全員協議会は元来非公開の性質のものであるし、而かも今回は一身上の問題でもありましたので、当然秘密会とすべきものであると信じたからであります。以上簡単ですが御報告いたします。

お詫び

このたびは大変御迷惑をおかけし、誠に恐縮にたえず謹しんでお詫びいたします。

八年前の軽挙がこのような結果となりまして、誠に耐え切れぬ気持で心から反省もし進退については町議会におまかせいたしました。議会では数日かかつて検討された上、町政を混乱に陥れたくないので、本人が慎しみ、今後名誉挽回に努力することを期待して、留任すべき旨の指示がなされました。私として感激にたえないところであります。

この間即時退職すべき旨の勧告や、住民への、又激励や、慰撫、陳情などがありましたこれも町を思い私を思つての御芳情と感謝にたえません。

私も議会から留任の指示がありました以上、皆様の御期待に応えるため、十分自重し町政に更に挺身する覚悟でございますので、どうぞ御力添え下さいますようお願いいたします。町長　曽木隆輝

議会のまど

昭和三十六年臨時才一回町議会は、二月一日から四日間の会期をもつて開催し、左記議案及び陳情を議決しました

◉議案才一号　加治木町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◉議案才二号　加治木町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◉議案才三号　加治木町教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

◉議案才四号　加治木町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◉議案才五号　加治木町職員の給与を改正するもので、一般職の職員に準じて本町職員の給与を改正するもので、一般職の職員において平均約十二、七％の増額、特別職は町長五五、六〇〇円、助役三九、五〇〇円、収入役三四、七〇〇円、教育長三四、七〇〇円議長一二、〇〇〇円、副議長九、〇〇〇円、常任委員長七、五〇〇円議員七、〇〇〇円に決定しました。

◉議案才六号　加治木町特別住宅料を一戸当月額一、一〇〇に決定しました。

◉議案才七号　昭和三十五年度尚加治木町才入才出追加更正予算

◉議案才八号　昭和三十五年度尚加治木町特別会計上水道業才入才出追加更正予算

◉議案才九号　鹿児島県町村職退職手当組合設立について

◉議案才十号　鹿児島県町村職員退職手当組合設立の協議について

◉陳情才一号　中学校生徒増並びに教育課程改訂に伴う施設設備のための予算措置に関する件（姶良郡PTA連絡協議会長）

◉陳情才二号　竜門小学校給水施設の改善について（竜門校PTA会長）

◉陳情才三号　川内酪農組合に対する助成方について（川内酪農組合長）

◉陳情才四号　給食室、宿直室の移転改築についての陳情（柁城校PTA会長）

◉陳情才五号　給食賄婦の賃金確保について陳情（柁城校PTA会長）

右陳情五件いづれも採択することに決定しました。

◉議案才一号　土地の処分に関する条例の一部を改正する条例

鉄より払下げを受けた駅宅地を現居住者、幾留及び[illegible]の両氏に売却することにしました。

◉議案才十一号　山団地に建設の町営住宅料を一戸当月額一、一〇〇に決定しました。

相互共済の制度により町村財政の運営の安定と、職員の福祉増進及び有能人材の招致等を図る為、県下町村職員の退職手当支給事務を共同処理する一部事務組合設立に同意することに決定しました。

◉議案才十号　鹿児島県町村職員退職手当組合設立の協議についての専決処分に関する件

前才九号議案の組合設立の規約について、これが設立加入町村数及び設立年月日の変更を要する場合に、議会の議決を得ないで、町長において専決処分出来ることに指定しました。

網掛川河川改修工事

總工事費一、二〇〇万円
今年度は網掛橋まで

網掛川河川改修は、年々着々と整備されつゝありますが三十四年度より規模中小河川の指定を受け、継続事業として改修工事の出来ますことは感謝に堪えません。

今年度は三十四年度の終点より一二〇〇万円の事業費（町負担一二〇万円）により網掛橋まで延長五四三、九米を三工区に分け着工、才一工区は、服部組、才二工区は幸生組、才三工区は岩沢組に於いて施工、才一工区、才二工区は既に完成、才三工区は現在施工中であります。網掛川公園もこの改修工事により立派な堤防ができ立派な公園になりました。この堤防上に子供の転落を防ぐため、防護柵施工を県に対し要望いたしておきましたので、近い内に実施されることと思います。公園の施設については都市計画事業として三十七年度に施行する計画であります。本工事の完成により、町の美観はもとより増水期、台風時の災害防止に、その効果は大なることを信じます。三十六年度以降は対岸を実施される計画であります。

食糧事務所近く工業高校前へ移轉

食糧事務所姶良支所の新しい庁舎を現在加治木工業高校前に新築中でありますが、近く完成、役場内より移転することになります。

公営住宅32戸完成

昭和三十五年度公営住宅新築工事は敷地の買収も順調に進み、昨年七月二十六日より着工、西岩原団地に才二種簡耐七戸、竹下団地に才二種簡耐六戸、日木山団地に才二種簡耐十二戸、才二種木造七戸、合計三十二戸が一月二十日に完成全戸入居いたしております。

町営保育所ができます

三十五年度に於いて計画中の町営保育所の新築工事を、去る十二月二十四日入札、幸生組が落札　加治木労働基準局南隣に六二、五坪の建設を施工中でありますが、三月中には完成、四月より開所することになります。

加治木港改良工事

加治木港改良工事は三十三年度より継続工事として実施中であり、今年度の工事も現在施工中でありますが、三十六年度に於いて完成の見込みであります。

本工事の暁には商業港として町内はもちろん郡内各地よりの諸物資の搬出入港としての、その果す役割は大なるものがあると思います。

日木山橋の鐵筋橋改築なる

町内老朽木橋対策については、既報のとおりでありますが、今年度は日木山橋の鉄筋橋改築を失業対策事業で計画し、施工中のところ延長三〇、二米巾員三、三米が完成いたしました。このあと三十五年度に於いて、小山田の中田橋の橋脚改築を失対事業で実施し、三十六年度に於いて橋台改築を実施する計画です。

天神通線舗装工事が着工されました

三十五年度都市計画（街路）天神通線舗装工事は、鉄道踏切の問題がからんで工事が遅延いたし皆様に御心配をかけていましたが、鉄道踏切の問題は一応今後の折衝に残して、舗装だけを今年実施することに決定。去る十二月二十三日入札才一建設株式会社、中島進氏が落札。現在施工中でありますが三十四年度終点より二五五米の舗装が完成することになります。本工事により附近の商店はもとより、一般の方に御迷惑をかけておりますが後しばらく御辛抱をお願いします。

年末たすけあい資金
―ご協力有難うございました―

◉総計　四九、三五三円
糯米　一斗四升八合
内～大口寄附者
○生長の家青年部（二、八七六円）
○大井、玉利、神田橋医院外四名（一、四〇〇円）
○財務、福祉事務所、保健所（五九七円）
○町長、助役、収入役（三、〇〇〇円）
○立正交正会（K子）（一、〇〇〇円）
○岩下吉雄氏（二、〇〇〇円）
○脇田郁穂氏（一、七〇〇円）

◉いただいたお金は、要保護世帯に送り、糯米はついて日当山、横川両養老院へ送りました。

香典返しを寄附

左記の方々から町社会福祉協議会に、香典返しとして寄附をいただきました。御芳情厚くお礼申し上げます。

二千円　西反土　福薗国治殿
一千円　朝日町　杉田ヘツ殿
二千円　垂之口　大山森吉殿
二千円　於里　松永一馬殿
三千円　中郷　坂元吉夫殿
五千円　西汐入岡山みちえ殿
二千円　西汐入　蔵満洋一殿
千五百円川内　福元彦次殿

盛大だつた消防出初式

前山元団長に感謝状

昭和三十六年度消防出初式は、去る一月十一日加中校庭に団員全員が集り、来賓多数参列のもとに盛大に行なわれた。今年は特に町民の協力を得て、無火災を期して最大の努力をすることを誓いあつた。

なお、この席上四〇年の永年に亘り半生を消防人としてつくされた前山元団長はじめ優良消防団員表彰や加治木療養所自衛消防団、優良後援会に町長から感謝状がおくられ参列者の注目をあつめた。

表彰者つぎのとおり

△鹿児島県消防協会
始良支部長表彰
中央分団部長　大吉　操

△町長表彰
西別府分団部長　東　光義
辺川分団部長　大宮路一行
中野分団部長　永吉清美
錦江分団班長　大迫繁雄
錦江分団班長　池田三郎
小山田分団班長　高崎義則
中央分団班長　中村　晃
中央分団団員　松尾利光

△団長表彰
国立加治木療養所自衛消防団

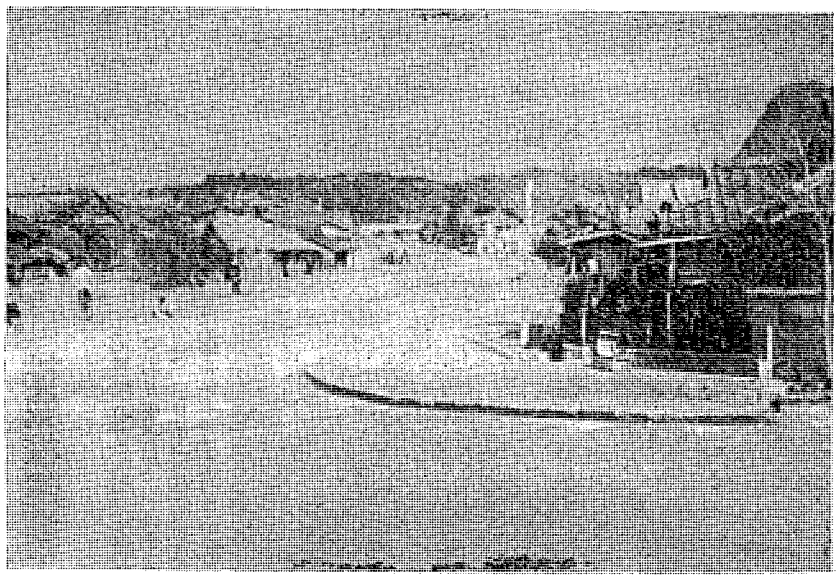
△町長感謝状
前団長　山元辰左ェ門
前西別府分団長　外村　初
前辺川分団長　下猶末男
下新道消防後援会
柳田消防後援会
中野消防後援会長永吉武治

△団長感謝状
榎谷　哲
楠原青年団

○前山元団長経歴
大正十年　消防手
昭和十三年　小頭
昭和十八年　分団長
昭和二十一年　副団長
昭和二十三年　日本消防協会表彰（功績章）
昭和二十七年　団長
昭和二十九年　県消防協会表彰（三十年以上勤続章）
昭和三十年　県消防協会表彰（功績章）
昭和三十一年　団長（留任）
昭和三十五年七月　退団（勤続四十年）

○前外村分団長経歴
昭和二十一年　西別府分団団員
昭和二十七年　西別府分団長
昭和三十二年　消防協会始良支部長表彰
昭和三十五年三月　退団（勤続十五年）

○前下猶分団長経歴
昭和二十二年　辺川分団団員
昭和二十七年　辺川分団長
昭和三十年　消防協会始良支部長表彰
昭和三十五年三月　退団（勤続十四年）



写真―立派に出来上つた道路―

延長428米

立派になつた駅前大通り線

駅前大通り線の舗装工事は三十四年度より継続事業として実施いたしましたが、今年は山藤建設の施工により延長一六七、八米が完成しましたこれにより駅より国道まで延長四二七、八米巾一〇米の舗装が全部完了したことになります。

加中北側鐵道踏切 拡巾問題は？

この踏切の拡巾問題については、国鉄に対し再三に亘る折渉を行なつて来ましたが、最近国鉄の踏切事故が頻発している折柄、国鉄側としましても慎重に検討がなされ、仲々施工のはこびに至らなかつたので、先日再び出頭、強い要望をいたしました結果、反射鏡を設置することにして部内の調整を計り実施することに強力に進めたいとの意向でありますので、多分近い内に実施のはこびになるものと思います。

今が植林の適期

植える場所の選定が大切

春雨が降り始めると、植林の適期に成り皆さん実施中のことと思います。

現在森林施肥が非常に話題となつていますがこれも不適地に植栽して施肥しても、効果の少ないことは申すまでもありません。樹木はこの地中の酸素水分栄養分と、空中の光と、空気、温度等すべての条件がそろつたときに、最も成長が良いのです。栄養分だけがいくら多くても、大きくなりません。樹種と養分の要求度は種類によつて水分、空気栄養分の要求度に差があります。クロマツは乾燥に強いが、スギは水分が不足すると成長が悪くなります。ローキはスギとマツの中間の適潤地を好みます。マツの根は、酸素を沢山要求しますが、スギは少し位通気が悪くても枯れません。スギは多量に養分を要求しますが、クロマツは瘠地でも育ちます。樹種別の栄養分の要求量は、スギが最も多く、ヒノキはスギの半分マツは四分の一

豆知識

日のごろの乾燥に注意しよう

三月は乾いてノドが痛くなるほどの天気がつづき湿度二〇％台となる。日本人の番住みよい湿度は六〇％あるため、湿度が低いと体からどんどん熱をうばわれるために、皮膚の表面がもろくなるためである。水気がなくつて田んぼが地われすると同じ理屈であるから、これからはハダの手入れも必要である。

かぜを回復させる食事

かぜをひいた時には安静と保温はもちろんだが、回復をはやめるためには次のものがよい。

①梅干ガユは食欲をます。昆布のだし汁をつくり、汁の中に梅干一個をおとし、これでとぎ米から、とろ火でゆつくりとカユをたく。②玉子酒は体をあたためる。煮たつた酒の中に玉子二つをいれ砂糖でかきまぜて泡だつたのを飲む。③きんかんはセキをとめる。きんかん一五～六個に砂糖を入れ、水二合で煮て量が半分に煮つまつたらさましてのむ。④早く治すには脂肪分をとるとよい。脂肪の発生熱量はタン白の二倍もあつてよい熱源と保温マクになるのでバター、肉類を沢山とること

刃物を持たない運動など協議

社会教育委員 公民館運営審議会 合同会議

社会教育委員と公民館運営審議委員合同会議は、去る二月二十日公民館日本間でひらき次のことを協議した。

特に、刃物を持たない運動の推進については、種々協議がなされ、刃物による犯罪を未然に防止するため、町民の協力を得ることとし、家庭における刃物の管理には充分注意して貰うなど強い意見が出された。

協議された事項は次のとおり

○三十六年度社会教育予算について
○研究視察について
○県委嘱青年学級研究会開について
○刃物を持たない運動の推進について

すでに2頭の赤ちやん生る

（川内酪農）

十二月二十三日長野県より、姙娠乳牛十二頭、育成牛十二頭を導入した川内酪農組合員十二名は、その後、乳牛についての講習会等を開き、酪農研究に努力しているが、すでに一月七日及び二月二日には仔牛が生れ、その二名は森永乳牛に牛乳の出荷をしている残る十頭も五月上旬までに分娩を終り、牛乳の共同出荷が出来る態勢にある。先づ乳牛を健康に過させる為には、年間平均して青草の給与と、運動と日光浴手入であるが、飼料作物として一戸平均二〇アール の飼料作りをして、冬期の青物給与に努力し、更に、一日三〇分位の乳牛の索運動を、舎外での日光浴手入等綿ゞて居るが、二十四頭の乳牛の運動は壮観で一大酪農地感がある。酪農では、搾乳管理、手入、搾乳等時間厳守が大事であるために組合で一日二石牛乳出荷するまは禁酒を誓い、酒迫放に乗出し、更に、衛生を必要とするのでこの研究も進めて居が近く衛生モデル地区に指される筈。

讀書活動について

調査が行なわれた

去る二月十三日本町の読書活動調査のため一行九名「長野、滋賀、高知、長崎、熊本宮崎の各県立図書館長、田川、八代市立図書館長、日本図書館協会事務局長代理」が来加され、昼間図書館の調査を終えて、夜間弥勒部落へ乗り込んで行なわれた。

調査の主なるものは、全国的に問題となつている「生産や生活とむすびついた読書活動」の進め方についてであつたが、親子二十分読書や、その他、読書活動の全般について、つぶさに調査された調査の結果については、後日協会が公表することになつている

納税は
夫の努力
妻の知恵
に納税
ご協力下さい

初市

三月二日と三日の二日間に亘り、旧西町仲町、蒲生田一帯に盛大に店びらきします。

社会教育狀況調査

去る二月十日文部省から黄川田、坂井両事務官が来加され、公民館施設と社会教育活動狀況全般について調査がなされた。

火の用心
火の仕末
たしかによいかもう一度
消防本部 電話 320 番